

広島市植物公園 見どころ案内

今年のさくらまつり・春の夜間開園は中止となりました。

新型コロナウイルス感染症対策のため、フクシア温室、展示温室、サボテン温室、展示資料館、休憩展望塔の公開を中止しています。また、実演会など全ての行事を中止しています。森のレストラン、森のカフェ、花売店は営業しています。

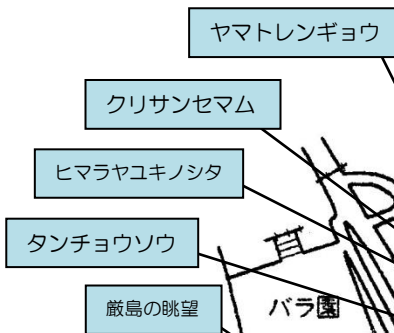
タヌキラン

(カヤツリグサ科)

名前はランですがスゲのなかまです。花穂がタヌキの尾に似ています。

アマナ (ユリ科)

チューリップの原種として紹介されますが、現在は別属(アマナ属)に分類することが主流です。東アジア(中国~日本)の日当たりのよい草地に生えます。



ヒスイカズラ

(マメ科)

フィリピン原産。目線の高さで咲いてます。

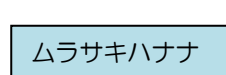
ヒヤシンス (キジカクシ科)

ギリシャ神話の王子の名前が由来。芳香があり香水にも用いられます。

リュウキュウイト

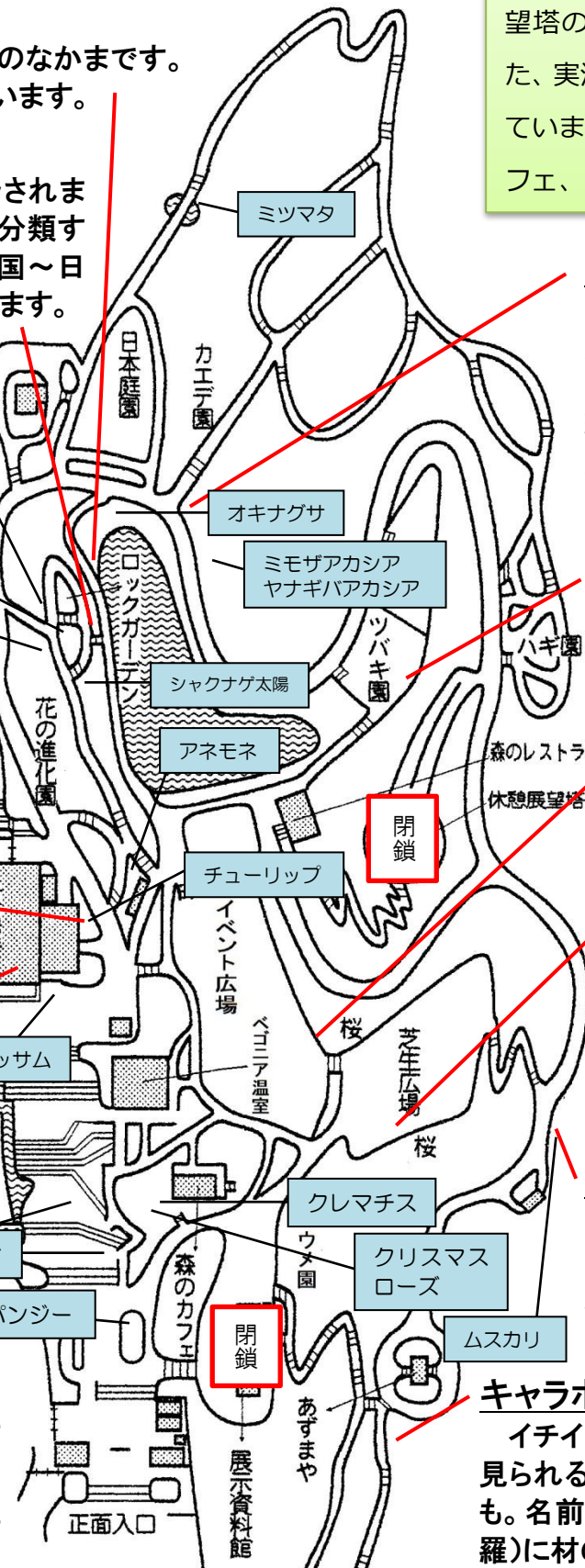
バショウ (バショウ科)

栽培バナナの祖先種の一つ。種があり食用には不向き。沖縄の布(芭蕉布)の原料。



アイスランドポピー (ケシ科)

和名はシベリアヒナゲシ。ケシの仲間ですが、アヘン成分を含みません。ヒナゲシやオニゲシも同様。現地では越冬しますが、高温多湿を嫌うので、1年草扱いです。



ハナノキ (ムクロジ科)

ハナノキは日本固有の落葉高木で、東海地方(長野・岐阜・愛知)にのみ分布する珍しい樹木です。展葉に先立って咲く紅色の花は花飾りを連想させます。

ユキヤナギ (バラ科)

長く伸びた枝に穂状に白い花が咲きます。切り花にも。花は白雪を連想させます。

サクラのなかま (バラ科)

24日にソメイヨシノが開花。ヒガンザクラが見ごろ。

アーモンド (バラ科)

花は桜や桃に似ています。見分け方は、花が幹に直接ついており(花柄がない)、花の中央部分が濃い赤色を帯びることがポイントです。

ハナニラ (ネギ科)

南米原産の球根植物。一度植えるとよく増え、手がかからない植物。触るとニラのようなネギ臭がします。

キャラボク (イチイ科)

イチイの変種で日本海側の高山に見られる風衝低木。生垣など庭木にも。名前のキャラはインドの香木(伽羅)に材の香りが似ていることから。